

with Friends ～みんなで作る「楽しい」「高め合う」満濃中～

9月23日(金)



団通信では、結果、学年主任からのお礼の言葉、生徒の感想を紹介します。

★金賞 1年1組 「My Own Road ～僕が創る明日～」

★銀賞 1年4組 「大切なもの」

★指揮者賞 1年3組 浦山 凌 ★伴奏者賞 1年1組 大西 結月

奏風祭終了後の西山から学年全体へのお礼の言葉の概要

仲間とともに、「みんなで作る楽しい・高め合う満濃中」、「みんなで作る楽しい・高め合う奏風祭」、5つのクラスのそれぞれの思いのこもった素晴らしい合唱、ありがとうございました。

○4組 大切なもの

歌を通してクラスが本気で何かに向き合う場面や、今何か重要か、何が「大切なもの」かについて、向き合う場面が印象的でした。「あたたかい気持ち、強い気持ち、ひとりきりじゃない…」大切なものは何かを考え、育んでいく4組のこれからが楽しみです。

○5組 マイバラード

歌詞の通り「みんなで」を大切にしている5組。それぞれがやるべきことを考え、黙々と進む給食の配膳や清掃。「素直に心を開いて」何事にも誠実に取り組む、一つ一つの積み重ねをクラスの成長につなげていく今後の5組が楽しみです。

○3組 HEIWAの鐘

「繰り返す戦争、愚かな力」そして「平和」へとつながる。流れをイメージしながらエネルギッシュに歌いきってくれました。お互いのよいところを認め合う、苦手なところを補い合う、そういったことが土台のもとに安心して平和に暮らせる生活があります。心一つに、学年団でも平和の鐘を響かせていきましょう。

○1組 My Own Road ～僕が創る明日～

「何をめざしているのか」、今クラスに何が必要かをみんなで考えながら一歩ずつ進んできた合唱練習期間でした。このメンバーで歌えるのもあと数回…この言葉も印象的でした。みんながめざし追求した一体感、「明日へ続く道を強く踏み出す」1組のさらなる進歩が楽しみです。

○2組 地球星歌 笑顔のために

柔らかな雰囲気の中、後半は「そう誰にでも」「さあその気持ち」と明るく投げかけて大切な場所やふるさと、色々なものがつながっている尊さを訴えかけてくれました。何気ないことの尊さを大切にしながら平和で笑顔溢れる、愛に溢れたクラスをめざしてほしいと思います。

歌を通して学校生活をより豊かにする日を早くからイメージし、準備や指導をしてくれた穴吹先生ありがとうございました。

温かく見守ってくださった3年生、先生方ありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願いします。

金賞を目指して、生徒も先生も本気で取り組んできました。今日、この審査員で評価した1つの結果が出ます。お互いの頑張りを称え合い、結果はそれぞれがしっかりと受け止めましょう。競技が終わればノーサイドです。勝敗に対する公正な態度も義務教育で学ぶべき大切なことの1つです。称え合い、高め合う学年団でなければなりません。

自分たちの納得のいく、追求してきた合唱ができたかどうかや、今回感じる事ができた一体感を大切に、この後教室でしっかりと振り返りを行いきましょう。

今日はありがとうございました。

生徒の感想より

「歌を歌いたい！」や「ここはこういう感情で歌おう」という考えが生まれ、歌への興味が増しました。みんなと心を一緒にすることもできました。ハモるうれしさ、歌えるうれしさで奏風祭を迎えました。たくさん練習したおかげで金賞まではいかなかったけど銀賞が取れました。このクラスで「〇〇」が歌えて良かったです。本当にいい思い出になりました。

7月半ばから練習し始めて、最初はこのメンバーで金賞をめざせるか不安でした。ハミングのところの音程が分からなかったり、大きな声が出なかったり、改善しなければならぬことが多すぎました。でも、毎日の歌練習でパートごとに話し合ったり、どうすれば良くなるかたくさん考えたりしました。練習を積んでいくうちに、みんながどんどん真剣に取り組むようになっていて、全体的にまとまりが出てくるようになりました。本番まで残り1週間で切った頃の男声パートとアルトパートの急成長には驚きました。本番では今までの成果を存分に発揮できました。金賞は取れなかったけど、クラスが一つに集まる感覚はとてよかったです。あと約半年、このクラスで思い出を作っていきたいです。

歌い終わった後、「涙が出るかも」って思うくらい感動しました。このメンバーだったから最後まで乗り切れたのだと思いました。始めに体育館で合わせた時は「私、伴奏としてできているのかな」と不安を感じたり、泣きそうになったりしたけれど、友達が励ましたり応援してくれたりしました。このクラスでなかったら、あそこまでみんなと楽しく合唱も伴奏もできなかったです。このクラスでこのメンバーと歌えたのが「キセキ」だと思いました。

最初は全然歌えなくてソプラノにつられてうまくいかなかったけれど、みんなで協力して工夫しながら練習ができました。段々とみんながまとまってきて歌えるようになったときはとても楽しかったです。本番はとても緊張したけれど、2・3年生からの手紙や先生達の応援のお陰で今までで一番いい歌を歌えたと思います。賞はとれなかったけどクラスの仲が深まりました。2年生の歌は力強くてとても感動しました。とてもいい思い出になりました。

私が奏風祭で学んだことは、高め合うこと、感謝することです。合唱は全員の気持ちを一つに楽しんで歌うことが大切だと何度も教わりました。最初は「本気」で取り組んでいる人が自分も含めて少なかったと思います。でも、周りの学級や2・3年生の取り組み方を見て、リーダーを中心にだんだんみんなで一生懸命できるようになったと思います。自分から「～しよう」と声をかけるのは勇気があることなので、パートリーダーがみんなに話しているのを見てすごいと思いました。奏風祭に関係している全ての人に感謝したいです。

